



2025 年 10 月 17 日

各 位

会 社 名 abc 株式会社
代表者名 代表取締役社長 松田 元
(コード：8783、スタンダード市場)
問合せ先 経営企画部 部長 谷井 篤史
<https://www.gfa.co.jp/form/corp/>

第三者割当による新株式及び第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権の行使による 資金調達の状況に関するお知らせ

当社は 2025 年 1 月 24 日に発行いたしました第三者割当による新株式及び第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権の行使状況と現時点における資金調達の状況につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

なお、本第三者割当の発行及び条件等に関する詳細につきましては、2025 年 1 月 8 日付で開示いたしました「第三者割当による新株式及び第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権の発行に関するお知らせ」をご参照ください。

記

1. 資金調達の状況

当社は 2025 年 1 月 24 日に第三者割当による新株式及び第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権を発行し、現時点において、約 60 億円の調達を行っております。

現時点（10 月 17 日時点）の資金調達の額：6,000,985,000 円（調達率：79.9%）

（内訳）

- ・新株式の発行：600,000,000 円
- ・第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権の行使：5,400,985,000 円

なお、現時点での第 16 回新株予約権、第 17 回新株予約権の行使状況は下記のとおりです。

【第16回新株予約権】

(1) 新株予約権の名称	GFA株式会社 第16回新株予約権
(2) 発行した新株予約権の数	148,900個（1個につき 100株）
(3) 行使価額	1株につき 400円
(4) 資金調達の額	5,956,000,000円
(5) 行使期間	2025年1月24日から2028年1月21日まで
(6) 現時点の新株予約権の行使数と行使による資金調達の額	117,235個 <u>4,689,400,000円</u>
(7) 現時点の未行使の新株予約権の数	31,665個

【第17回新株予約権】

(1) 新株予約権の名称	GFA株式会社 第17回新株予約権
(2) 発行した新株予約権の数	40,640個（1個につき 100株）
(3) 行使価額	1株につき 450円
(4) 資金調達の額	1,828,800,000円
(5) 行使期間	2025年1月24日から2028年1月21日まで

(6) 現時点の新株予約権の行使数と行使による資金調達額	15,813個 711,585,000円
(7) 現時点の未行使の新株予約権の数	5,400個 (※)

(※) 2025年7月8日、第17回新株予約権の一部である19,427個については、すべて取得及び消却を行っております。

2. 今後の見通し

本新株予約権の発行により調達する資金使途については、具体的な使途として開示しておりますとおりに適切に充当しながら、当社グループの事業推進に従事しております。

＜新株式の発行により調達する資金の具体的な使途＞

具体的な使途	充当予定金額	資金充当状況
① 運転資金	300百万円	300百万円
② 当社における借入金返済資金	300百万円	300百万円
合計	600百万円	600百万円

＜本新株予約権の発行により調達する資金の具体的な使途＞

具体的な使途	充当予定金額	資金充当状況
② 当社における借入金返済資金	415百万円	331百万円
③ 当社子会社（アトリエブックアンドベッド株式会社）における借入金返済資金	215百万円	0百万円
④ 当社子会社の設備投資等資金	154百万円	0百万円
⑤ 太陽光発電施設の取得資金	230百万円	230百万円
⑥ 販売用不動産の仕入資金	120百万円	7百万円
⑦ M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金	4,180百万円	2,585百万円
⑧ 子会社による仮想通貨の購入資金	1,000百万円	961百万円
⑨ 事業会社に対する投融資資金	1,100百万円	971百万円
⑩ 運転資金	300百万円	253百万円
合計	7,714百万円	5,338百万円

また、2025年10月15日付「2025年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」の開示で公表しましたとおり、決算期変更となる当事業年度は、5ヶ月の変則決算となっておりますが、経常利益、当期純利益が大きく改善し、黒字化を実現しております。

昨年末より当社と当社の連結子会社である abc Capital 株式会社（旧：GFA Capital 株式会社）において暗号資産の運用を行っており、当社が保有する暗号資産による売買益を踏まえた、当該ディーリング事業及び上場企業のエクイティファイナンスにおけるトレーディングによる利益が大きく寄与しております。

今後についても当社等における借入金返済、運転資金への充当と共に、既存事業の強化と特には大きく、M&A、資本業務提携による法人取得における投資資金及び法人取得初期における運転資金（案件に派生する事業会社に対する投融資資金を含む）、仮想通貨の購入資金という、当社グループの軸ともなる事業資金への投下を前提に、行使による資金調達の際には適切に継続して運用を行ってまいります。

なお、本新株予約権の行使による払込みは、原則として新株予約権者の判断によるため、新株予約権行使により調達する時期は、新株予約権の行使状況によって決定されますが、今回は、当該資金使途が当社の企業価値の創造と向上に大きく寄与するものであることを割当予定先の方々からも理解を得ており、当社事業の進捗に応じた行使及び株価上昇にも応じて、当社側における行使指示条項もあることから、タイムリーな資金調達を可能とした条件ともなっております。

ただ、新株予約権の行使が思うように進まない場合には、資金使途の見直し及び別途の資金調達の可能性があることにも変更はございません。

以 上